

平成24年度下半期水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

本市水道事業は、安全で安定した給水活動の継続のため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設及び老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、721,006,644円を投じ、安定給水の向上と災害時等の給水対策として配水管布設工事を行い、管網未整備路線の出水不良の改善と区画整理地区で管の布設を必要とする箇所を対象に、口径75～400mmの配水管8,631mを布設しました。

一方、改良事業では、1,978,413,161円を投じ、配水管の布設工事及び浄配水場の整備工事を行いました。

浄配水場整備工事では、上青木浄水場ほか遠隔制御装置等更新工事のほか石神配水場高圧遮断器ほか更新工事、上青木浄水場7号井掘替工事等を行い、配水管布設工事については、老朽鑄鉄管の更新等を図り、口径75～600mmの配水管等7,806mを布設しました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の主な収入である給水収益の収入済額は10,308,409,125円で、予算現額10,350,852,000円に対して99.6%、受託工事収益の収入済額は110,803,966円で、予算現額111,478,000円に対して99.4%の執行率となっております。これらに受取利息、水道利用加入金等を加えた収入済合計額は11,445,148,996円で、予算現額11,340,626,000円に対して100.9%の執行率となっております。

一方、収益的支出の支出済合計額は10,350,574,189円で、予算現額10,978,827,000円に対して94.3%の執行率となっております。主な内訳は、営業費用9,476,206,155円、企業債の支払利息719,267,049円となっております。

以上の収支により、本年度は消費税及び地方消費税込みの利益は1,094,574,807円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的支出の支出済合計額は4,942,881,305円で、予算現額5,717,601,000円に対して86.5%の執行率となっております。この内訳は、建設改良費2,709,874,805円、企業債償還金2,233,006,500円となっております。

一方、資本的収入は、企業債1,704,000,000円で、これに受託工事収入40,754,000円、一般会計負担金46,966,785円を加えた収入済合計額は、1,791,720,785円となり、予算現額1,817,285,000円に対して98.6%の執行率となっております。

3 給水状況

本年度末日の給水世帯数は259,855世帯で、給水人口は581,154人と、前年度に比べ1,863人（0.3%）の増となっております。

年間総配水量は、65,258,459 m^3 で、前年度に比べ278,726 m^3 （0.4%）の増となり、年間有収水量は58,560,174 m^3 で、有収率は89.74%となっております。